

令和8年度 年間指導計画(シラバス)

学科	教科	科目(講座名)	対象学年	単位数	教科書	使用教材
福祉教養科 普通科	家庭	保育基礎	2年次以降	2	保育基礎 ようこそ、ともに育ち合う保育の世界へ(教育図書)	なし
学習の到達目標			保育の意義や方法、子供の発達や生活の特徴及び子供の福祉と文化などについて体系的・系統的に理解しているとともに、関連する技術を身に付けている。 子供を取り巻く課題を発見し、保育を担う職業人として合理的かつ創造的に解決する力を身に付けている。 子供の健やかな発達を目指して自ら学び、保育に主体的かつ協働的に取り組む態度を身に付けている。			
学期	月	単元	学習内容	到達度目標(学習のねらい)		
前期	4月	1章子どもの保育	1 保育の意義	・保育には、子どもの生涯の人格形成の基礎を培う重要な意義があることを理解する。		
			2 保育の環境	・家庭及び幼稚園、保育所や認定こども園について、それぞれの養育・保育環境の特徴や役割を理解する。		
			3 保育の方法	・家庭及び幼稚園、保育所や認定こども園について、それぞれの養育・保育環境の特徴や役割を理解する。 ・現代の子どもや子育て家庭を取り巻く環境の問題、多様な保育のニーズに関する課題を知り、子どもの健やかな発達のための適切な保育環境について考える。		
	5月	2章子どもの発達	1 子どもの発達の特性	・ライフステージにおける乳幼児期の位置づけを確認し、生涯発達のために乳幼児期が大切であることを理解する。 ・子どもが主体的に環境にはたらきかけ、発達していくために、保育者などが応答的にかかわることが大切であることを理解する。		
			2 乳幼児の発育と発達	・乳幼児期の発育について、各部位別の目安や評価法を知る。 ・乳幼児期の生理的特徴について理解する。 ・乳児期・幼児期における感覚・運動機能、情緒、認知機能、言語、社会性の発達の特性について理解する。 ・愛着関係の形成過程を学び、その重要性を理解する。 ・安全基地としての親の重要性について理解する。また、家族・きょうだい・友だちなどの対人関係と社会性の発達について考える。		
	6月	3章子どもの生活	1 子どもの健康と生活	・保育所保育指針などを取り上げながら養護の必要性・目的を理解し、発達の段階に応じた適切な養護の方法を知る。 ・子どもを安全に養護するためのポイントや、注意点について知る。 ・基本的な生活習慣と社会的な生活習慣の違いを理解し、その具体的な内容について知る。 ・生活習慣を題材にした絵本などから、生活習慣の習得を促すにはどのような工夫が必要かを考える。		
2 子どもの食事			・子どもの栄養と食生活の特徴を知り、必要なエネルギーと栄養素について理解する。 ・近年の幼児に関する食事習慣や健康面の課題を知り、家庭や保育施設でどのようなことが求められているか考察する。 ・幼児食実習や幼児用おやつづくりなど、実習を通じて子どもをイメージする。			
後期	10月	3章子どもの生活	3 子どもの衣服と寝具	・乳幼児に適した被服の素材・型を知り、適切な被服計画ができるようになる。 ・衣服の選択を間違えると、思わぬ事故につながることを知り、安全な衣生活について考えることができる。 ・適切な寝具やおむつの使い方を理解する。		
			4 子どもの健康と安全	・子どもの健康を守るための保育者の役割を理解し、健康状態の観察方法を知る。 ・子ども特有の病気について知り、予防接種の大切さを理解する。また、病気の際に落ち着いて対処するための知識を得る。 ・住まいに潜む危険について理解し、家庭や保育施設など身近な場所の危険についても考えることができる。		
後期	11月	4章 子どもの福祉	1 保育にみる児童観	・子どもが保護・養育される権利をもち、尊重されるべき存在であると認識されるまでの歴史を知る。 ・日本の児童観の変遷と、社会環境や法制度のしくみについて理解する。		
			2 児童福祉の理念と法規・制度	・子どもの福祉の理念について理解し、歴史的な経緯を知る。 ・児童福祉法や児童福祉関連施設の概要とその役割について理解する。		
	12月	5章 子どもの文化	1 子どもの文化の意義	・子どもの文化やそれを支える場が、子どもの健康で豊かな生活の実現のために果たす役割や意義を理解する。		
			2 子どもの文化を支える場			
			3 子どもと遊び	・子どもの健やかな発達における遊びの重要性や意義を、おもちゃづくりなどの活動を通じて理解する。 ・子どもの遊びの内容や時間・場所・仲間などが、近年の社会の変化の影響を受けて変容していることを知り、どのような課題があるか考える。		
1月		4 子どもの表現活動	・子どもの表現活動によって培われる能力について知り、表現活動の重要性や意義を理解する。 ・表現活動で子どもの意欲を引き出し、心身を育むための、保育者としての適切なかわり方を理解する。			
2月						